

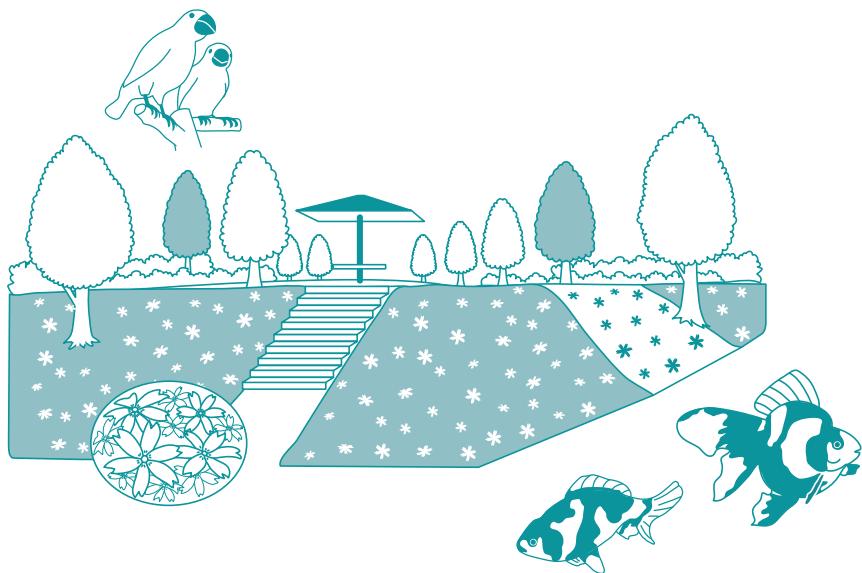


わたしとみんなの 未来計画

地域でつくる「人・自然・文化」の調和
輝く未来へ繋ぐまち・弥富

第2次弥富市総合計画

基本構想 2019年度～2028年度
前期基本計画 2019年度～2023年度



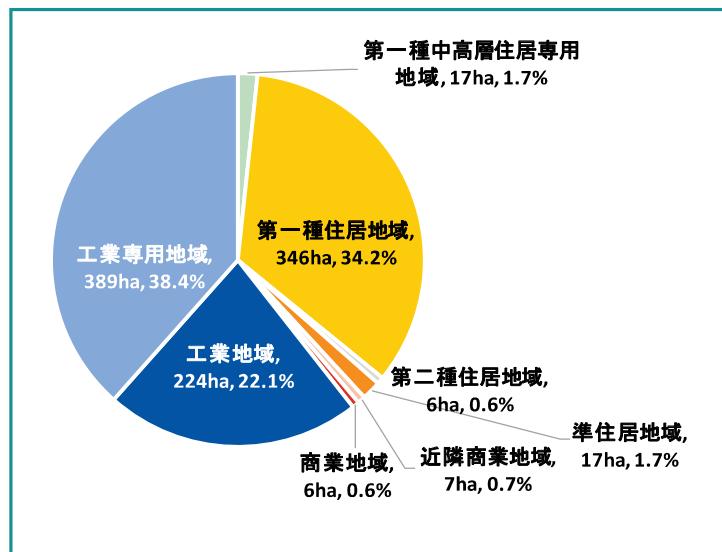
2019年3月

弥富市

●現状・課題

- 1) 本市では、市全域が都市計画区域（名古屋都市計画）に指定されており、平成30（2018）年4月現在、市街化区域が1,012ha（21.0%）、市街化調整区域が3,806ha（79.0%）となっています。
- 2) 市街化区域は、北部の弥富駅及び佐古木駅周辺地域と、南部の港湾地域及びその後背地に指定され、北部は居住系・商業系市街地が中心で、南部については全てが工業系市街地となっています。
今後も社会情勢の変化に合わせ、市街化区域等を見直す必要があります。
- 3) 本市の玄関口でもあるJR・名鉄弥富駅の自由通路及び橋上駅舎の整備に合わせ、本市をイメージしたデザインを取り入れ、魅力ある景観づくりを進めます。また、弥富駅周辺においては、新市街地の整備が検討されています。
- 4) 今後も人口減少が進んでいくなかで、市街地では、空地や空家が目立ち始め、都市のスポーツ化が進んでいます。市街地の拡散を抑制し、都市的機能が集約され、公共交通ネットワークが充実したコンパクトなまちづくりを進めていく必要があります。
- 5) 市街地内の農地を貴重な資源と捉え、新市街地の整備と合わせ、新たな生産緑地の指定を検討する必要があります。

◆用途地域別面積割合



●目指すべきまちの姿

生活拠点の整備や集約的な都市構造への転換が進み、便利で快適な生活が維持されています。

●市民等との協働による取組

「都市計画に関する計画」の周知、啓発により、市街地整備に関する住民の理解に努めます。

●主要施策と概要	主要事業	関係課
(1) コンパクトなまちづくりの推進 ・人口減少や高齢化が進むなかで、誰もが便利で快適に暮らせる維持可能なまちづくりを目指し、コンパクトな都市構造を推進するため、立地適正化計画を策定します。	○立地適正化計画策定事業	都市計画課
(2) 市街地の計画的整備【重点施策】 ・JR・名鉄弥富駅の自由通路及び橋上駅舎の整備を行うことで、鉄道により分断された南北の連絡の確保及びバリアフリー化を図ります。 また、自由通路整備に合わせ、弥富駅北口駅前広場を整備し、交通結節点としての機能向上を図ります。 ・新市街地の土地利用動向等をふまえ、市街化区域及び用途地域見直しを行います。 ・新たな活力の創出に向け、港湾地域における物流・産業拠点の形成と連動し、弥富トレーニングセンター跡地をはじめとする後背地における工業系土地利用を促進します。	○JR・名鉄弥富駅自由通路・橋上駅舎化事業 ○弥富駅北口駅前広場等整備事業 ○区域区分・用途地域見直し事業	都市計画課
(3) 市街地緑地の保全 ・市街化区域内農地について、多面的な機能を考慮し、生産緑地の保全を図ります。	○生産緑地保全事業	都市計画課

●施策目標に対する市民満足度	単位	現状値 (2017年度)	目指す方向性	
			2023年度	2028年度
駅や市役所周辺の整備	%	25.0	↗	↗
市街地や農地などの計画的な土地利用の推進	%	15.0	↗	↗
●成果指標	単位	現状値 (2017年度)	目標値(目指す方向性)	
(2) 市街化区域面積	ha	1,012	1,130	1,150
(3) 生産緑地面積	ha	3.7	3.7	3.7

●関連する個別計画

弥富市都市計画マスタープラン（都市計画課）